

契約変更理由書

神戸市

工 事 名	東白川台地区段差解消工事（その５）
変更後の工事概要 交差点数 N＝3箇所 道路土工 1式 舗装工 1式 区画線工 1式 排水構造物工 1式 防護柵工 1式 縁石工 1式 標識工 1式 道路附属施設工 1式 構造物撤去工 1式 仮設工 1式	
設計変更の理由 1. 縁石工・道路附属施設工の変更 B交差点南西側の歩道だまりについて、道路と民地のすりつけのため縁石工を増工とする。また、縁石設置に伴い、官民境界標の復元を行う必要があるため、道路附属施設工が増工となる。 2. 構造物撤去工の変更 既設街渠をとりこわしたところ、設計で無筋コンクリート構造物の撤去となっている箇所が鉄筋コンクリート構造物で構成されていたため、鉄筋コンクリートのとりこわし・運搬・処分の数量が増となる。 3. 交通誘導警備員の変更 交差点Bにおいて各歩行者だまり（4箇所）を同時並行で施工すると車道全面規制となってしまうため、歩行者だまりを2箇所ずつに分けて施工する必要がある。また、夜間開放時も当然歩道内通行が必要なため、歩道を半幅ずつ施工する必要がある。これらの理由から施工日数が増加するため、交通誘導警備員の数量が増となる。 4. その他、現地精査による数量の増減による変更	